

日本農学アカデミー 第27回総会報告

日本農学アカデミー事務局

第27回総会は、書面審議にて開催された。

会員数200名に対し、書面提出数（書面表決書）134枚、未回答66枚であった。

総会では、

- ①令和5年度事業報告（案）
- ②令和5年度収支決算（案）
- ③令和6年度事業計画（案）
- ④令和6年度収支予算（案）
- ⑤第13期役員（案）

について審議が行われ、①～⑤の議案において、賛成134票・反対0票で承認された。

総会に先立ち、7月3日にオンラインで開催された理事会には、理事13名、監事2名が出席した。

例年、総会後に開催されていたミニシンポジウムならびに懇親会は中止とした。

## 日本農学アカデミー第27回総会 次第

日本農学アカデミー第27回総会は、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みて、書面決議にて開催することとする。

### 1 議案

- 第1号議案 令和5年度事業報告（案）について
- 第2号議案 令和5年度収支決算（案）について
- 第3号議案 令和6年度事業計画（案）について
- 第4号議案 令和6年度収支予算（案）について
- 第5号議案 第13期日本農学アカデミー役員（案）について
- その他

### 4 配布資料

- 資料1 日本農学アカデミー第27回総会 総会資料
  - 1-① 令和5年度の入退会者一覧
  - 1-② 令和5年度収支決算書（案）
  - 1-③ 監査報告書
  - 1-④ 秋のシンポジウム（案）
  - 1-⑤ 令和6年度収支予算書（案）
  - 1-⑥ 第13期日本農学アカデミー役員（案）

## 日本農学アカデミー第 27 回総会 総会資料

## 【第 1 号議案】令和 5 年度事業報告（案）について

## 1 会員数の状況

正会員 189 名、特別顧問 11 名、賛助会員 3 団体

(令和 5 年度末現在、年度末退会者数は反映済)

令和 5 年度の入会者 25 名、退会者 14 名 (資料 1-①参照)

## 2 ミニシンポジウムの開催

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、開催に至らなかった。

## 3 シンポジウムの開催

## (1) 「東日本大震災がもたらした食料問題 —福島県の現状と課題—」

日時：令和 5 年 11 月 11 日 (土) 13:00~17:00

場所：ハイブリッド開催

主催：日本農学アカデミー、公益財団法人農学会

後援：東京大学大学院農学生命科学研究科、農研機構、ワールドウォッチ・ジャパン  
福島大学、復興農学会

内容：原子力災害と風評被害——13 年目の課題 関谷直也  
相双地方における農林業の現状・課題と新しい産地形成に向けて 小久保仁子  
農産物における放射能汚染対策 12 年の総括と科学的知見の蓄積 二瓶直登  
食農連携に向けた福島の取り組みと大学の役割 小山良太  
コメント 加藤絵美・葛西優香・小松知未  
総合討論 中嶋康博+登壇者

## (2) 「変わりゆく海の環境と海の恵み」

日時：令和 6 年 3 月 30 日 (土) 13:00~17:25

場所：ハイブリッド開催

主催：公益財団法人農学会・日本農学アカデミー

後援：東京大学大学院農学生命科学研究科、ワールドウォッチ・ジャパン

内容：気候変動下における海の環境と生物生産 小笠恒夫  
地球温暖化で魚の大きさは変わるの？ 日本周辺の魚に注目して 伊藤進一  
わが国のサケに及ぼす地球温暖化の影響 帰山雅秀  
温暖化がおこした藻場の変化 グレゴリー西原  
水産物生産流通販売における新課題 八木信行  
総合討論 小谷あゆみ+登壇者

#### 4 学術シンポジウム等の支援及び助成

理事会の承認を受け、次のシンポジウム等の支援及び助成を行った。

- (1) 「水産・海洋分野における AI の役割と課題」(共催)

日時：令和5年12月15日(金)

経費：経費負担なし

- (2) 「食料自給率の動向と見通し ―食料・農業・農村基本法改正に向けて―」(共催)

日時：令和6年2月3日(土)

経費：3万円

#### 5 総会、理事会等の開催

- (1) 幹事会の開催

日時：令和5年5月10日(水) 8:45~9:30

場所：オンライン開催

- (2) 理事会の開催

日時：令和5年7月4日(水) 13:30~15:10

場所・オンライン開催

- (3) 第26回総会の開催

書面審議にて開催した。

#### 6 会報の発行

令和5年度は、第39号(6月)及び第40号(12月)を作成し、ホームページに掲載した。

#### 7 アカデミー便りの発行

会員間の情報共有のため、毎月発行し、会員に郵送した。

#### 8 『学術の動向』の配布

会員の特典として、季刊誌『学術の動向』(公益財団法人日本学術協力財団発行)を購入し、会員に郵送した。

#### 9 ホームページの充実

諸情報を逐次更新するとともに、会報やシンポジウムの案内を掲載するなど、内容の充実を図った。

**【第2号議案】令和5年度収支決算（案）について**  
（資料1-②及び1-③参照）

**【第3号議案】令和6年度事業計画（案）について**

- 1 会員の拡大
- 2 会報の作成
- 3 シンポジウム（11月）の開催（資料1-④参照）
- 4 学術シンポジウムの助成及び後援
- 5 総会、理事会等の開催
- 6 ホームページの充実
- 7 農学諸問題に関する調査等を実施し、日本農学アカデミー声明、提言及び会長談話等の発出
- 8 その他、本会の目的を達成するために必要な事業

**【第4号議案】令和6年度収支予算（案）について**  
（資料1-⑤参照）

**【第5号議案】第13期日本農学アカデミー役員（案）について**  
（資料1-⑥参照）

**【その他】**

- 1 「アカデミー便り」の発行について

『学術の動向』の季刊化（年4回発行）に伴い、これまで『学術の動向』に同封して発送していた「アカデミー便り」は、第163号（令和6年5月号）よりメール配信を開始した。

## 2023 (R5) 年度の入退会者一覧

## 入会者 (25名)

荒井 聡	信濃 卓郎	中島 信彦
磯部 祥子	新村 毅	林 絵理
大浦 由美	杉浦 誠	福田 弘和
大藤 泰雄	杉山 淳司	堀 正和
小川 剛伸	鈴木 孝子	前田 秋彦
金井 正美	田中 あかね	松田 一彦
菊水 健史	土井 元章	安尾 しのぶ (敬称略)
北岡 卓也	東原 和成	
経塚 淳子	渡嘉敷 勝	

## 退会者 (14名)

青山 勲	栗原 光規	藤原 信好
稲垣 賢二	酒井 正博	保科 次雄
稲永 忍	筒井 俊之	水口 亜樹
今川 俊明	中村宗一郎	吉永 優
小田切 徳美	畑中 寛	(敬称略)

## 日本農学アカデミー 2023(R5)年度収支決算書 (案)

(2023年4月1日～2024年3月31日)

(単位：円)

科 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	差 異 ①-②	備 考
I 収入の部				
会費収入	2,065,000	2,035,000	30,000	正会員分 1,885,000円 賛助会員分 150,000円
預金利息	40	41	△ 1	
当期収入合計 (A)	2,065,040	2,035,041	29,999	
II 支出の部				
会議費	300,000	208,412	91,588	シンポジウム経費
諸謝金	200,000	182,054	17,946	シンポジウム講師謝金
通信運搬費	79,100	204,138	△ 125,038	総会・シンポジウム案内等、 切手・葉書
消耗品費	10,000	4,200	5,800	事務用消耗品
印刷製本費	60,000	24,200	35,800	封筒
図書購入費	897,600	870,952	26,648	『学術の動向』購入費 (@1650*0.85*621冊)
学会等助成費	150,000	30,000	120,000	シンポジウム助成金 (@30,000*1件)
ホームページ管理費	123,843	123,843	0	ホームページ更新料等
日本農学進歩賞共催負担金	100,000	100,000	0	
業務委託費	200,000	200,000	0	事務管理費
振込手数料	25,000	22,933	2,067	会費振込手数料(加入者負担)等
予備費	100,000	0	100,000	
当期支出合計 (B)	2,245,543	1,970,732	274,811	
当期収支差額(C)=(A)-(B)	△ 180,503	64,309	△ 244,812	
前期繰越額 (D)	3,042,458	2,978,149	64,309	
次期繰越額 (E)=(C)+(D)	2,861,955	3,042,458	△ 180,503	

## 預貯金残高

内 訳	金 額
現金	20,000
郵便貯金	93,474
三井住友銀行普通預金	1,928,984
三井住友銀行定期預金	1,000,000
計	3,042,458

## 監査報告

日本農学アカデミー令和5年度収支決算について監査した結果、適正に会計処理されていることを認めます。

令和6年5月16日

日本農学アカデミー

監事 小泉 健 

監事 梅本 雅 



日本農学アカデミー、公益財団法人農学会、一般社団法人日本農学会  
共同主催 公開講演会

## 能登半島地震による農林水産業の被害と復興への展望

### —農学が果たすべき役割とは—

日時：2024年11月9日（土）13:00～17:00

場所：東京大学弥生講堂+オンライン開催（ハイブリッド形式）

後援：東京大学大学院農学生命科学研究科、ワールドウォッチジャパン  
石川県立大学、金沢大学

#### 開催趣旨：

能登半島地震は過疎化が進み人口減少が著しいところで発生したが、この地域は多様な生物資源が守られており、伝統的な農林漁法と土地利用があることから、わが国で初めて世界農業遺産に登録された。伝統的な食生産や工芸品の生産が行われており、それらの文化的背景も高く評価され、能登の里山里海は観光資源の大きな柱となっている。このような貴重な自然や文化的な資源を守るためには農林水産業の復興は欠かせない。このシンポジウムでは能登半島の復興に農学が果たすべき役割は何かを議論する。

- 13:00-13:05 開催にあたって (総合司会) 日本農学アカデミー理事 渡部終五
- 13:05-13:10 開会挨拶 日本農学アカデミー会長 生源寺眞一
- 13:10-13:15 開会挨拶 一般社団法人日本農学会会長 大杉 立
- 13:20-14:00 基調講演：能登半島地震の被害の特徴と復興支援（仮）  
金沢大学能登里山里海未来創造センター長・教授 谷内江昭宏
- 14:00-14:30 第一報告：令和6年能登半島地震が農林水産業に与えた被害について  
石川県農林水産部
- 14:30-15:00 第二報告：能登半島地震による山地域の斜面崩壊の実態と今後の対策（仮）  
石川県立大学教授 大丸裕武
- 15:00-15:15 (休憩 15分)
- 15:15-16:15 コメント 石川県立大学産学官連携学術交流センター長・教授 橋谷田 豊  
金沢大学環日本海域環境研究センター准教授 木谷洋一郎  
石川県酒造組合  
能登農林組合  
輪島朝市組合
- 16:15-16:55 総合討論 (司会) 一般社団法人日本農学会副会長 金子豊二  
全ての登壇者
- 16:55-17:00 閉会挨拶 公益財団法人農学会会長 丹下 健

## 日本農学アカデミー 2024 (R6) 年度収支予算

(2024年4月1日～2025年3月31日)

(単位：円)

科 目	予 算 額	備 考
I 収 入 の 部		
会費収入	2,065,000	正会員、賛助会員
預金利息	40	2023年度実績 (41円)
収 入 合 計 (A)	2,065,040	
II 支 出 の 部		
会議費	300,000	シンポジウム開催費(交通費含む)
諸謝金	200,000	シンポジウム講師謝金等
通信運搬費	79,100	総会等案内、シンポジウム案内等、切手
消耗品費	10,000	事務用消耗品
印刷製本費	60,000	ポスター、封筒等印刷費
図書購入費	897,600	『学術の動向』購入費(@1650×0.85×160冊×4か月)
学会等助成費	150,000	シンポジウム等の助成金(@30,000×5件)
ホームページ管理費	123,843	ホームページ更新料等((公財)日本学術協力財団)
日本農学進歩賞協賛金	100,000	(公財)農学会
業務委託費	200,000	事務管理費((公財)日本学術協力財団)
振込手数料	25,000	会費振込手数料(加入者負担)等
予備費	100,000	
支 出 合 計 (B)	2,245,543	
収支差額 (C)=(A)-(B)	(180,503)	
前年度からの繰越金(D)	3,042,458	
次年度繰越(E)=(C)+(D)	2,861,955	

## 第 13 期日本農学アカデミー役員

令和 6 年 7 月●日

会 長・理事	生源寺眞一	公益財団法人日本農業研究所研究員
副会長・理事	大杉 立	日本学術会議連携会員、八ヶ岳中央農業実践大学校校長
副会長・理事	佐々木昭博	東京農業大学参与・客員教授
副会長・理事	鳥居 邦夫	(株)鳥居食情報調節研究所所長
	⇒松山 旭	キッコーマン株式会社取締役常務執行役員
副会長・理事	中西 友子	日本学術会議連携会員、東京大学名誉教授・特任教授
理事	石塚真由美	日本学術会議連携会員、北海道大学大学院教授
理事	井手 任	(国研)農研機構理事
理事	江口 文陽	東京農業大学長
理事	勝田 真澄	(国研)農研機構理事
	⇒鈴木 孝子	(国研)農研機構理事
理事	門脇 光一	(国研)農研機構理事
	⇒湯川 智行	(国研)農研機構理事
理事	倉田 のり	国立遺伝学研究所名誉教授
理事	小山 修	(国研)国際農林水産業研究センター理事長
理事	嶋田 透	学習院大学理学部長・教授、東京大学名誉教授
理事	土井 元章	日本学術会議第二部会員、京都大学名誉教授
理事	中静(浅野) 透	(国研)森林研究・整備機構理事長
理事	中嶋 康博	日本学術会議第二部会員、東京大学大学院教授
理事	中谷 誠	(国研)農研機構副理事長
理事	松田 幹	福島大学農学群食農学類教授
理事	和田 時夫	(一社)全国水産技術協会専務理事
理事	渡部 終五	北里大学客員教授
監事	梅本 雅	(国研)農研機構元理事
監事	小泉 健	(公社)農業農村工学会専務理事

(五十音順)